

【報道関係各位】

2022年9月12日
三谷産業株式会社

空調設備工事部門の ISO9001 審査で 特別の高評価「ストロングポイント」を2年連続で獲得

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）の空調設備工事部門（空調システム事業部および空調首都圏事業部）は、一般財団法人日本品質保証機構（略称：JQA）が実施する品質マネジメントシステムの規格 ISO9001 の更新審査において、特別の高評価となる「ストロングポイント」を昨年の定期審査に続けて2年連続で獲得しました。建築・建設業界において2年連続でのストロングポイントの獲得は、これまでに類例を見ない成果となります。

■ストロングポイントについて

JQA の審査におけるストロングポイントとは、品質マネジメントシステムの有効活用によって組織の発展や改善を実現し、他企業にはない顕著な成果を挙げている活動を評価するものです。

三谷産業は本年6月に実施された ISO9001 更新審査において、ストロングポイント2件、グッドポイント8件という高い評価を獲得しました。

ストロングポイントとして評価されたのは、以下の2点です。

【1】 AI チャットボットを活用し、文書・書類の検索を擬似コミュニケーション化して高速化

三谷産業の空調設備工事部門では、経験が少ない20代の若手社員が増加したことや手順書等の資料が多いことから、必要な情報を見つけるまでに時間がかかるという悩みも少なくありませんでした。そこで、昨年11月より AI（人工知能）を活用し、質問を入力すると AI が回答を提示してくれるチャットボットのトライアル運用を開始しました。本年3月に実施された利用状況のヒアリング結果では、チャットボット活用により知りたい情報の検索時間が大幅に短縮され、若手社員の生産性向上と管理職らの負荷軽減につながっていることが確認されています。

このように AI チャットボットが建築・建設業界で活用されている事例は少なく、先駆的な取り組みが評価されました。

将来的には、現場状況に応じたリスク情報の活用等を含め、多様なシーンで用いられる独自の業務支援ツールとして進化することが期待されています。

【2】 BIM の活用による施工効率化の推進と BIM 関連ビジネスの拡大

三谷産業では2016年に企画設計部 BIM 室（発足当初は BIM 推進室）を設置し、BIM およびその周辺技術である点群データ処理、3D-VR などのスキルの向上と知識の蓄積に努めてきました。その結果、従来の手法と比べ大幅にリードタイムを短縮することが可能となり、品質の向上へと繋がりました。2020年度には国土交通省の「BIM を活用し

た建築生産・維持管理の円滑化モデル事業」の連携事業者として認定され、また 2021 年度には既存集合住宅における BIM データの効率的な作成方法について UR 都市機構と共同研究を実施する※1等、さまざまな活動成果を得ています。

さらに、これらの成果が社外から高く評価されたことで BIM 関連ビジネスの受注が拡大し、昨年度は大規模工場の BIM 化や BIM と 3D-VR を活用した商業施設の施工の効率化、点群データを基にした複雑形状建物の施工計画・図面化なども手掛けました。

今後も更なる BIM 関連技術の向上を追求するとともに、お客様にとってより最適な提案ができる組織づくりに努めてまいります。

※1 「三谷産業と UR 都市機構、BIM データの効率的な作成方法を検証する共同研究を実施」

(本年 5 月 31 日公表) <https://pdf.irpocket.com/C8285/Zlyd/AvBf/FKDW.pdf>

三谷産業が獲得したストロングポイントの詳細については、JQA が作成する活動審査報告書に記載されると共に、同法人の Web サイト内「優秀活動事例 共有サービス（会員限定）」にて今後公開される予定です。

https://www.jqa.jp/service_list/management/members/ ※JQA 会員のみアクセス可能

なお、昨年度に獲得したストロングポイントの詳細は以下のリンクからご覧いただけます。「品質マネジメントシステムへの取り組みが評価され、ISO9001 定期審査において優秀活動賞を受賞」（昨年 9 月 21 日公表）

<https://www.mitani.co.jp/application/files/5416/3219/3132/210921.pdf>

また、このほか下記 8 件のグッドポイントを獲得しています。

- ① お客様向けイベント「三谷空調セミナー」の開催を通じた顧客満足度および社員モチベーションの向上
- ② 組織全体に見える化されたリスク管理 Web データベースの構築によるリスク低減
- ③ 金沢・東京でのクロス内部監査の実施による、両地区間での強み・課題の共有
- ④ 管理職やベテラン社員から若手社員への技術伝承、早期育成
- ⑤ 設備データベースの構築により業務の属人化の解消や情報共有を促進することで生産性を向上
- ⑥ 改善提案内容の表彰制度を取り入れ、知見の蓄積・活用を仕組み化
- ⑦ 営業担当社員の育成とミス防止に寄与する営業業務関連手順書の作成
- ⑧ 設計・積算を担うベトナム子会社 ACSD 社の社員育成

(補足情報)

【三谷産業グループについて】 <https://www.mitani.co.jp/>

石川県金沢市で創業して94年、ベトナムで創業して28年の複合商社です。北陸、首都圏、ベトナムを拠点に、化学品／情報システム／樹脂・エレクトロニクス／空調設備工事／住宅設備機器／エネルギーの6セグメントで事業を展開しています。商社でありながら、時にメーカーとして、また時にコンサルタントとして、お客さまにとっての最適を追求するとともに、「創業90年を越えるベンチャー企業」として更なる進化へと挑戦しています。

全社的に品質マネジメントシステムの向上にも取り組んでおり、昨年6月に公表した非財務的経営指標「Company Well-being Index」においても目標を定めています。

2022年3月期：連結売上高 84,427 百万円／連結従業員数 3,805 名

<お問い合わせ先>

三谷産業株式会社 経営企画本部 PR 企画室 TEL: 03-3514-6003 (担当：村石)